

公民館の主役は住民の皆さんです!

鎌田地区公民館は住民の皆さんが委員を務める5つの専門委員会が、互いに連携しながら公民館の事業活動を盛り上げていきます。



揮毫 伊藤茂男氏
鎌田地区
平成31年3月1日現在
世帯数 8,934戸
男女 9,956人
9,576人
発行 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

文化委員会



林 清吉

文化委員会では3本の柱(健康増進・歴史文化・食育)を念頭に、トレッキングや各種の講座開催などを企画しています。

昨年は初めての取り組みとして、松本一本ねぎの苗植えから収穫までを体験し、収穫後には料理実習も行いました。参加者からは好評な講座で、新年度も参加者を募集して実施する予定です。
まだまだ他にも企画したいと考えており、多くの皆さまの参加をお待ちしています。

館報編集委員会



松川 靖彦

今お読みの紙面、松本市公民館報の鎌田地区版「かまだ」の編集を6人の委員で担当しています。毎月開催の編集会議では記事の題材を探るのが大変で、頭を悩ませながら次号の企画を立てています。原稿は地域に密着した事柄を正確に分かりやすく、また読んでいただけることを願いながら、委員が手分けして取材・執筆をしています。
編集委員会では、読後のご意見や感想、載せてほしい記事等の声をお待ちしています。

スポーツ委員会



鎌倉 弘行

スポーツの語源は「気晴らしをする」「日常を離れて遊ぶ」ことだそうです。

スポーツ委員会では鎌田地区体育協会と協力しながら、心に余裕をもち、健康で快適な生活が送れるようなスポーツ企画を考えて、皆さまに楽しんでいただきたいと思います。
スポーツを通して、老若男女を問わず、町会の垣根を超えた人間関係の広がりを目指しますので、よろしくお願ひします。

図書・視聴覚委員会



中田 美千

図書・視聴覚委員会では季節に合わせて壁画パネルを制作し、西部図書館のカウンター横に展示しています。また、図書館や絵本館、美術館など巡るバス視察研修も開催しており、本好き・ことに絵本好きの皆さまには好評です。
委員会活動をより良く進めるためにはと迷うこともありますが、楽しくくをモットーに新年度も活動したいと思っています。
図書館の壁画パネル、どうぞお楽しみに!

運営委員会



村松 昭雄

最近、地域課題や地域づくりという言葉が聞かれる機会が多いと思います。「鎌田地区ってどんな所?」と調べる中学生の記事を見かけたこともあり、運営委員会では公民館の在り方や運営等について検討することになります。幅広い年代に通じるような講座や行事を考えるなかで、地域の皆さんから希望・要望があれば参考にしながら意見交換していきます。多くの皆さんが公民館に足を運んでいただければと思います。

鎌田地区公民館 専門委員の紹介

◆館報編集委員

- 小林 睦和(笹部)
- 小林 嘉美(弥生町)
- 小山 淳一(井川城中区)
- 南雲多榮子(月見町)
- 松川 靖彦(高宮)
- 松本 捷幸(両島)

◆スポーツ委員

- 赤穂 勝貴(笹部)
- 今福 圭司(征矢野)
- 小倉 利夫(南原町)
- 鎌倉 弘行(両島)
- 近藤 邦人(鎌田)
- 深澤 久江(五月町)
- 山本 英明(笹部)
- 吉野 泰正(笹部)

◆文化委員

- 伊藤 徹(鎌田)
- 鎌倉むつ子(両島)
- 上條 玉紀(笹部)
- 長井洋八郎(高宮)
- 林 清吉(両島)
- 村上さよ子(五月町)

- 鎌倉 弘行(両島)
- 窪田 京子(南原町)
- 小岩井定男(高宮)
- 中田 美千(井川城中区)
- 南雲多榮子(月見町)
- 林 清吉(両島)
- 松川 靖彦(高宮)
- 松山 雅彦(笹部)
- 宮沢 生式(石芝東)
- 村松 昭雄(井川城中区)
- 望月 敏通(並柳)

◆図書・視聴覚委員

- 大濱 マリ(村井町北)
- 高山みゆき(高宮)
- 中田 美千(井川城中区)
- 林 愛弓(渚)
- 前澤 裕子(征矢野)
- 横山 怜(井川城中区)

- ※五十音順・敬称略
- ※委員長 副委員長

鎌田お宝講座
— 第4回 —

「両島のお八日念仏と足半」見学会

鎌田地区の文化や歴史を学ぶ鎌田お宝講座が文化委員会の主催で2月11日に開催されました。



八日念仏数珠回し



小学生も手伝いながら足半を作る



足半を吊るす

今回は江戸時代から続く両島のコトヨウカ行事(国の選択無形民俗文化財)の見学会で、足半草履作りや八日念仏数珠回しなどを特別に間近で見せていただきました。

この行事は「この村にはこんな大きな草履を履く大男がいる」と疫病神を脅してその侵入を防ぎ、村人の無病息災を祈るもので、保存会の皆さんの作業を地元の小学生も手伝いながら、和気あいあいと大草履と飾り物・数珠縄を仕上げていきます。講座参加者の皆さんは、のぞき込んだりメモを取ったりしながら熱心に見学していました。

完成した大草履は祭壇に祀り、その前で念仏を唱えなが

ら数珠と数珠縄を回した後、大草履を南北の旧村境へ運び、昨年の物と入れ替えて木に吊るし、儀式は終わりました。

三九郎や青山さま・ぼんぼんなど、ほかにも長く続いている伝統行事があります。行

事の深い意味までは理解できなくても、子どもたちにはとにかく参加して大人たちと交わるなかで、伝統行事や地域に興味を持つてほしいと思いました。

田中公民館長から人口約2万人の鎌田地区の特色や現状、今後の課題などが提起され、話題提供者の手塚英男さん(あがたの森文化会館初代館長)が戦後の公民館の歩みをお話しされました。



松本市の公民館活動の大きな特徴は、住民が主体となって地域課題の学習や実践に取り組んできたことにあり、西部図書館は公民館を利用していた鎌田子ども文庫の母親などが中心となった署名・陳情により開館されたことも知りました。

急遽欠席された矢久保学さん(松本市教育部長)のメッ

セージからも「公民館は文化教養を学ぶだけの施設ではなく、地域づくりや次世代育成、福祉など幅広い役割を持つ。少子高齢化や科学技術が進むなかで、社会教育を中心とした公民館活動はますます重要」と理解することができ、住民の一人として今後の公民館の在り方を考える良い機会となりました。

公民館を取り巻く環境に厳しさが増すなか、公民館の在り方を模索する公開討論会が1月27日、鎌田地区公民館で地区内外の約30名が参加して開催されました。

「新しい時代の公民館を考えよう！」

公開討論会

(小林嘉美)

趣味を聞かれると何と答えれば良いか迷う▼読書? 雑読なのでジャンルを問わず、目について興味があればすぐに購入してしまおう。面白いと思った作家の作品は遡って読んでみる。天井まで届く本棚がほしい。本に囲まれた部屋は夢のようだ▼神社や仏閣、お城を巡って御朱印をいただく? 中学の修学旅行で新薬師寺の十二神将に出会って以来、仏像に魅入られた。戦国時代の武将に想いを馳せ、名城を巡る。だがやはり松本城が一番好きだ。御朱印を見て主人と「この字は素晴らしいね」などと分かったようなことを語る▼マンホール蓋を探して歩く? 全国には色々な当地マンホールがあり、見たことのないマンホール蓋を見つけると、とても嬉しくなってしまう。スマホで撮影してフェイスブックの「マンホール部」に投稿する。たくさんのいいね! をもらってご満悦。マンホール蓋ガチャをやりこんで家族には呆れられる▼人生百年と言われるこの頃、主人と共通の趣味がある私の老後は楽しみでいっぱいだ。